

国際常民文化研究機構 第2回国際シンポジウム プログラム

“モノ”語り－民具・物質文化からみる人類文化－

Things Talk: Human Culture from the Perspective of *Mingu* and Material Culture

日時：2010年12月11日（土）－12日（日）10:00－18:00

場所：神奈川大学 横浜キャンパス16号館 セレストホール

12月11日（土）10:00-10:30

開会の辞 中島三千男 神奈川大学学長
趣旨説明 佐野賢治 神奈川大学日本常民文化研究所

12月11日（土）10:30-18:00

公開研究会 「民具の文化資源化－“モノ”研究の新たな挑戦－」

12月11日（土）10:30-12:30

Session I 「民具名称の諸問題」

1. 検索タグとしての標準名－農具の歴史を踏まえて－ 河野通明
2. 民具名称のなりたち－奥会津只見の事例から－ 佐々木長生
3. 比較文化研究のための民具名称－ラオス北部と南九州の現場から－ 川野和昭
司会進行 神野善治 武蔵野美術大学・機構グループリーダー
コメンテーター 八重樫純樹 静岡大学

12月11日（土）13:30-15:30

Session II 「民具からみる東アジアの比較文化史」

1. 中国文化形成の基層性と多様性 楨林啓介
2. 沖縄と福建における亀甲墓をめぐる比較研究 小熊誠
3. 現代民具に「消費者の生産」を読む－石垣島の農具変遷を中心に－ 朽木量
司会進行 志賀市子 茨城キリスト教大学
芹澤知広 奈良大学
コメンテーター 角南聡一郎 元興寺文化財研究所・機構グループリーダー
何彬 首都大学東京
太田心平 国立民族学博物館

12月11日（土）15:45-17:45

Session III 「フネとカラダ－フネの構造と漕法－」

1. 身体活動の延長上にある北方船の技術－アムール川のムウとオモロチカ－ 赤羽正春
2. 手櫂（パドル）と民俗－トカラから八重山まで－ 板井英伸
3. 櫂・櫂の操作と絵画表現 昆政明
司会進行 後藤明 南山大学・機構グループリーダー
コメンテーター 門田修 （有）海工房
洲澤育範 伝統シーカヤック造舟所 イサナ・カヤック

12月11日（土）17:45-18:00

総括 小川直之 國學院大學・折口博士記念古代研究所

国際常民文化研究機構 第2回国際シンポジウム プログラム

“モノ”語り－民具・物質文化からみる人類文化－

Things Talk: Human Culture from the Perspective of *Mingu* and Material Culture

日時：2010年12月11日（土）－12日（日）10：00－18：00

場所：神奈川大学 横浜キャンパス 16号館 セレストホール

12月12日（日）10:00-10:30

開会の辞 中島三千男 神奈川大学学長
趣旨説明 佐野賢治 神奈川大学日本常民文化研究所

12月12日（日）10:30-18:00

国際シンポジウム 「“モノ”と“ヒト”の人類文化史」

12月12日（日）10:30-12:00

Session I 人と道具

1. 道具と身体技法 ー社会に織り込まれた技術の役割をどう理解すべきかー フランソワ・シゴー
2. 道具の人間化・脱人間化、人体の道具化
ー *Homo portans*（運ぶヒト）の諸相
：モノ・身体・社会の結節点の一つとしてー 川田順造
進行 神野善治 武蔵野美術大学・機構グループリーダー
佐野賢治 神奈川大学日本常民文化研究所

12月12日（日）13:00-14:30

Session II 人と“モノ”

1. 中国歴史文化の中の伝統手工芸 徐藝乙
2. 「モノ」と人間 ー黄河流域における花饅頭の民俗文化ー 周星
進行 角南聡一郎 元興寺文化財研究所・機構グループリーダー
小熊誠 神奈川大学日本常民文化研究所

12月12日（日）14:30-16:00

Session III 人と生活

1. モノから日本の近代生活を探る ー階層・ライフスタイルー 櫻井準也
2. イヌイトとアリュートの「近代化」 ー皮舟と犬ぞりを事例にしてー スチュアート ヘンリ
進行 後藤明 南山大学・機構グループリーダー
平井誠 神奈川大学日本常民文化研究所

12月12日（日）16:15-17:50

全体討論 朝岡康二 日本民具学会
近藤雅樹 国立民族学博物館

12月12日（日）17:50-18:00

閉会の辞 佐野賢治 神奈川大学日本常民文化研究所